



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 191

令和2年（2020年）4月4日発行

■ 清明（せいめい） 令和2年4月4日から4月18日までの節気

今年も早いもので4分の1が過ぎ4月に入りました。

例年だと、4月は新年度のスタートにあたり、小、中、高校、大学では入学式、新社会人は入社式と心新たに、そして期待に胸を膨らませ新しい人生のスタートの時期です。

しかし、今年はコロナウイルス問題で入学式、入社式は執り行われますが、インターネットを使ったり、親も参加できず子どもたちだけなど、本来は人生の中で次のステップに移行していく儀礼が台無し感があります。

一日も早い、終息が待たれますが、一向に収まる気配もなく、逆に異常なスピードで世界各地で拡散されています。

東京オリンピック・パラリンピックも開催が来年に延期され、各種イベントの自粛から生活面での自粛まで広がり、この終わりが見えない状況の中、我が国の、自分たちの生活がこの先どうなるのか、という不安が広がっています。

こういう時こそ、NPO PTPL が提唱する共に生きる「ともいき」の精神で、世界が一体となって、このコロナウイルス問題に対処し、打ち勝つことを願うのみです。

この節気期間中の記念日のひとつに4月7日の「世界保健デー」があります。奇しくもこの日は、1946年に国連が召集した国際保健会議で調印された「世界保健機関検証」に基づいて1948年に世界保健機関(WHO)が創立された日です。世界中の人々が可能な限りの最高の健康水準に到達することを目指して設立されましたが、コロナウイルス対応におけるWHOの行動を見ていると、本来の目的からはかけ離れているように思うのは私だけでしょうか？

日本の季節の移り変わりにはとってとても大切な期間があります。それは土用です。土用は年に4回あり、冬から春へ、春から夏へ、夏から秋へ、そして秋から冬へ移行する期間です。

4月16日は「春の土用の入り」です。このから立夏の前日の5月4日までの期間が「春の土用」です。

季節の変わり目である土用の時季に、暫く会っていない知人、友人に気軽にハガキでも書いたらいかがでしょう。（“季節の変わり目です。お身体お大事に。ご自愛下さい。”のような内容で）コミュニケーションは、より深まることとおもいます。

4月18日は「発明の日」です。1885年のこの日に「特許法」の前身の「専売特許条例」が公布されたことを記念して、特許庁と科学技術庁が1954年に「発明の日」を制定しました。特許法でいう発明は「自然法則を利用した技術的思想創作のうち高度なもの」とされています。科学技術について広く一般の関心と理解を深め、科学技術の振興を図るために、1960年2月26日の閣議了解に基づいて「発明の日」を含んだ一週間を「科学技術週間」と定められました。

世界の喫緊な問題である、コロナウイルス問題。いまだ、このウイルスに対抗できるワクチンや対処方法が確立されていません。ぜひとも、日本の英知と世界の英知を結集し、「ともいき」の精神で、治療薬を開発して欲しいと心から願っています。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■ ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。

それは日本的なるもの「ジャパネスク」

サクラの国、日本の今後。

今年例年より一足早く桜が開花しました。この便りが届くころには葉桜になっているところもあると思いますが、いまの桜の危機について紹介します。数ある桜の中でも有名なのがソメイヨシノで、日本国内にある桜のおよそ8割がこの品種だと言われています。

ところが近年、ソメイヨシノが存続の危機に瀕していることはご存じだと思います。

その大きな理由はソメイヨシノの高齢化です。寿命は他の品種に比べて短めで、一般的には 60 年ほどと言われています。この寿命に達しているソメイヨシノのうち、8 割近くがいつ倒木してもおかしくないといわれています。いま、ソメイヨシノの代替種として「ジンダイアケボノ（神代曙）」という品種の苗木が用意され、植え替えが進んでいます。

ジンダイアケボノは、1991 年に新品種として登録されています。この時にジンダイアケボノ（神代曙）と命名されました。神代植物公園で発見されたことと、元の品種名が Akebono（アケボノ）であることが名前の由来です。ジンダイアケボノはソメイヨシノよりも濃いめのピンク色で、グラデーションがかかっているのが大きな特徴です。このためとても華やかに見えます。樹形も似ていますが、ジンダイアケボノのほうが小ぶりですが、小ぶりな樹形には狭い場所に植えても邪魔にならないという利点があります。また、華やかな花色のおかげで、木が小さくても豪華な雰囲気を出すことが可能です。この点も代替種となった理由だといわれています。

こういうところにも桜を愛する日本人の知恵と工夫を感じます。

日本 2020 ジャパネスク

「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。
日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三（NPOPTPL 理事長）

■事務局便り

ニュースも話題もコロナウイルス一色。いろいろな憶測が飛び交う中、社会生活を保持しながら安心して安全な有効手段が求められています。生活スタイルの多様化もあり、かつ、政府、自治体の指示も強制力はありません。今こそ、日本人一人ひとりの知恵と工夫で乗り切ることが大切と感じます。

●日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FBをご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2020/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「日本とは、日本人とは、その心とは何か？」

<http://www.japanesque.tokyo/files/chart5.pdf>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp